



令和元年度 上野小学校 校内研究 自分の考えをもち、表現できる児童の育成

－国語科「話すこと・聞くこと」「読むこと」の学習を通して－



第1学年国語科

単元名 おうちの人に 先生たちのひみつを しらせよう

【単元において育成を目指す資質・能力】

- 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶ力
- 互いの話に関心をもち、思いや考えを伝え合おうとする力

【導入】前時の学習を振り返り、本時のめあてを知る。

おうちの人に先生たちの秘密を伝えるために、インタビューしよう。



課題設定の工夫

学級だけでなく、保護者にも調べたことを伝えることで、調べる必要感をもたせる。

めあて

先生のひみつを見つけるために、ききたいことをかんがえよう。

【展開】話を聞きたい相手に対して自分が聞きたいことを一つ決める。

個人で知っていることを書き出す

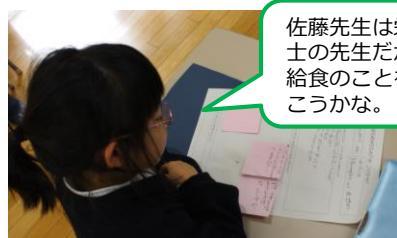


個人で聞きたいことを考える



グループで紹介しあい、聞きたいことを決める

ICTの活用



佐藤先生は栄養士の先生だから、給食のことを聞こうかな。



【相手に聞きたいことの視点】

- ・学校に関係があること
- ・その先生にしか聞けないこと
- ・皆が知りたいこと
- ・他の人が聞いたら嬉しいこと

全体で共有



考えをもつための工夫

ワークシートと画用紙・付箋を使って意見を集め、聞くことを視覚化する。

【終末】本時の振り返りをする。

学習計画表に、振り返りの視点をもとに書き込む。



○成果と●課題

- 学校の先生の秘密を家の人に伝えることは意欲を引き出す課題設定であった。
- ワークシートの構成が、質問を考えていくために有効だった。
- 画用紙に付箋を貼っていくことは、自分の聞きたいことを決めるために有効だった。
- 自分の意見を紹介することに課題がある。付箋を貼るだけでなく、意見を考えた理由等の自分の意見を付け加え、話を聞いて「つないでいく」ことができれば更に良かった。

